

発行者情報

【表紙】

【公表書類】	訂正発行者情報
【公表日】	2022年12月27日
【発行者の名称】	環境のミカタ株式会社 (KANKYOU NO MIKATA Inc.)
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 渡辺 和良
【本店の所在の場所】	静岡県焼津市上新田1019番地
【電話番号】	054-622-1130（代表）
【事務連絡者氏名】	取締役管理本部長 青木 克之
【担当J-Adviserの名称】	宝印刷株式会社
【担当J-Adviserの代表者の役職氏名】	代表取締役社長 堆 誠一郎
【担当J-Adviserの本店の所在の場所】	東京都豊島区高田三丁目28番 8 号
【担当J-Adviserの財務状況が公表される ウェブサイトのアドレス】	https://www.takara-company.co.jp/ir/reference/
【電話番号】	03-3971-3392
【取引所金融商品市場等に関する事項】	東京証券取引所 TOKYO PRO Market なお、振替機関の名称及び住所は下記のとおりです。 名称：株式会社証券保管振替機構 住所：東京都中央区日本橋兜町 7 番 1 号
【公表されるホームページのアドレス】	環境のミカタ株式会社 https://kankyounomikata.co.jp/ 株式会社東京証券取引所 https://www.jpx.co.jp/

【投資者に対する注意事項】

1. TOKYO PRO Marketは、特定投資家等を対象とした市場であり、その上場会社は、高い投資リスクを含んでいる場合があります。投資者は、TOKYO PRO Marketの上場会社に適用される上場適格性要件及び適時開示基準並びに市場価格の変動に関するリスクに留意し、自らの責任で投資を行う必要があります。また、投資者は、発行者情報により公表された情報を慎重に検討した上で投資判断を行う必要があります。特に、「第一部 第3 4【事業等のリスク】」において公表された情報を慎重に検討する必要があります。
2. 発行者情報を公表した発行者のその公表の時ににおける役員(金融商品取引法(以下「法」という。))第21条第1項第1号に規定する役員(取締役、会計参与、監査役若しくは執行役又はこれらに準ずる者)をいう。)は、発行者情報のうちに重要な事項について虚偽の情報があり、又は公表すべき重要な事項若しくは誤解を生じさせないために必要な重要な事実に関する情報が欠けていたときは、法第27条の34において準用する法第22条の規定に基づき、当該有価証券を取得した者に対し、情報が虚偽であり又は欠けていることにより生じた損害を賠償する責任を負います。ただし、当該有価証券を取得した者がその取得の申込みの際に、情報が虚偽であり、又は欠けていることを知っていたときは、この限りではありません。また、当該役員は、情報が虚偽であり又は欠けていることを知らず、かつ、相当な注意を用いたにもかかわらず知ることができなかったことを証明したときは、上記賠償責任を負いません。
3. TOKYO PRO Marketにおける取引所規則の枠組みは、基本的な部分において日本の一般的な取引所金融商品市場に適用される取引所規則の枠組みと異なっています。すなわち、TOKYO PRO Marketにおいては、J-Adviserが重要な役割を担います。TOKYO PRO Marketの上場会社は、特定上場有価証券に関する有価証券上場規程の特例(以下「特例」という。)に従って、各上場会社のために行動するJ-Adviserを選任する必要があります。J-Adviserの役割には、上場適格性要件に関する助言及び指導、並びに上場申請手続のマネジメントが含まれます。これらの点について、投資者は、東京証券取引所のホームページ等に掲げられるTOKYO PRO Marketに係る諸規則に留意する必要があります。
4. 東京証券取引所は、発行者情報の内容(発行者情報に虚偽の情報があるか否か、又は公表すべき事項若しくは誤解を生じさせないために必要な重要な事実に関する情報が欠けているか否かという点を含みますが、これらに限られません。)について、何らの表明又は保証等をしておらず、前記賠償責任その他の一切の責任を負いません。

1 【訂正発行者情報の公表理由】

2022年4月25日付で公表いたしました2021年9月期発行者情報の記載事項の一部に誤りがありましたので、発行者情報の内容を訂正いたします。

2 【訂正事項】

第一部【企業情報】

第2【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

第3【事業の状況】

1【業績等の概要】

(2) キャッシュ・フローの状況

第6【経理の状況】

【連結財務諸表等】

(1)【連結財務諸表】

④【連結キャッシュ・フロー計算書】

【注記事項】

(連結キャッシュ・フロー計算書関係)

3 【訂正箇所】

訂正箇所は、_____ 野で示してあります。

第一部【企業情報】

第2【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

<訂正前>

回次	第43期	第44期	第45期
決算年月	2019年9月	2020年9月	2021年9月
(略)			
営業活動によるキャッシュ・フロー (千円)	—	320,823	342,540
投資活動によるキャッシュ・フロー (千円)	—	<u>△160,703</u>	△165,838
財務活動によるキャッシュ・フロー (千円)	—	△57,408	36,273
現金及び現金同等物の期末残高 (千円)	—	<u>331,744</u>	<u>544,719</u>

<訂正後>

回次	第43期	第44期	第45期
決算年月	2019年9月	2020年9月	2021年9月
(略)			
営業活動によるキャッシュ・フロー (千円)	—	320,823	342,540
投資活動によるキャッシュ・フロー (千円)	—	<u>△140,702</u>	△165,838
財務活動によるキャッシュ・フロー (千円)	—	△57,408	36,273
現金及び現金同等物の期末残高 (千円)	—	<u>361,854</u>	<u>574,830</u>

第3【事業の状況】

1【業績等の概要】

(2) キャッシュ・フローの状況

<訂正前>

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末と比べ212,975千円増加し、544,719千円となりました。当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

(略)

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は165,838千円（前年同期は160,703千円の減少）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出262,705千円、有形固定資産の売却による収入96,992千円によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

(略)

<訂正後>

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末と比べ212,975千円増加し、574,830千円となりました。当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

(略)

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は165,838千円（前年同期は140,702千円の減少）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出262,705千円、有形固定資産の売却による収入96,992千円によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

(略)

第6【経理の状況】

【連結財務諸表等】

(1)【連結財務諸表】

④【連結キャッシュ・フロー計算書】

<訂正前>

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年10月1日 至 2020年9月30日)	当連結会計年度 (自 2020年10月1日 至 2021年9月30日)
(略)		
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の純増減額	<u>△12,400</u>	-
(略)		
投資活動によるキャッシュ・フロー	<u>△160,703</u>	△165,838
(略)		
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	<u>102,711</u>	212,975
現金及び現金同等物の期首残高	<u>229,032</u>	<u>331,744</u>
現金及び現金同等物の期末残高	※1 <u>331,744</u>	※1 <u>544,719</u>

<訂正後>

	前連結会計年度 (自 2019年10月1日 至 2020年9月30日)	当連結会計年度 (自 2020年10月1日 至 2021年9月30日)
(略)		
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の純増減額	<u>7,601</u>	-
(略)		
投資活動によるキャッシュ・フロー	<u>△140,702</u>	△165,838
(略)		
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	<u>122,713</u>	212,975
現金及び現金同等物の期首残高	<u>239,140</u>	<u>361,854</u>
現金及び現金同等物の期末残高	※1 <u>361,854</u>	※1 <u>574,830</u>

【注記事項】

(連結キャッシュ・フロー計算書関係)

<訂正前>

- ※1 現金及び現金同等物の期末残高と連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は、次のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2019年10月1日 至 2020年9月30日)	当連結会計年度 (自 2020年10月1日 至 2021年9月30日)
現金及び預金	389,087千円	602,064千円
預入期間が3か月を超える定期預金	<u>△57,342</u>	<u>△57,345</u>
現金及び現金同等物	<u>331,744</u>	<u>544,719</u>

<訂正後>

- ※1 現金及び現金同等物の期末残高と連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は、次のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2019年10月1日 至 2020年9月30日)	当連結会計年度 (自 2020年10月1日 至 2021年9月30日)
現金及び預金	389,087千円	602,064千円
預入期間が3か月を超える定期預金	<u>△27,232</u>	<u>△27,234</u>
現金及び現金同等物	<u>361,854</u>	<u>574,830</u>